



平成 25 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン
代 表 者 名 代表取締役 浅川 岳彦
(コード番号 8107 東証第 1 部)
問 合 せ 先 常務取締役 木村 裕輔
(電話 078-332-8288)

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 10 日に公表いたしました、平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）の業績予想値と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 5 月 10 日に公表いたしました、平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異
(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,300	百万円 3	百万円 △10	百万円 △20	円 銭 △0.03
実績値 (B)	2,108	3	△4	△7	△0.01
増減額 (B - A)	△192	0	6	13	0.02
増減率 (%)	△8.3	0	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	2,174	25	10	7	0.01

2. 差異の理由

当第 2 四半期において当社では、急激な円安の進行による仕入コスト上昇に対処するため、海外メーカーとの直接貿易拡大によるコスト圧縮と、来春夏物に向けて収益性の高い製品・販路政策を推進するための新旧ブランドの再編を急速に推進しました。

売上高は、前回予想に対し 8.3%の減少となりましたが、インショップ業態の既存店の苦戦、GMS 卸販売における冬物受注減に加えて、前掲の急速な生産背景再編による一時的な納期遅延が生じたことが主な要因です。

一方で、売上総利益については、直接貿易拡大によるコスト圧縮効果により、当初計画を上回る利益率を確保し、営業利益は当初計画どおりとなり、経常損失、四半期純損失は前回予想より赤字幅縮小となりました。

3. 通期連結業績予想の修正

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,100	100	80	50	0.06
今回発表予想 (B)	4,600	20	10	5	0.01
増減額 (B - A)	△500	△80	△70	△45	△0.05
増減率 (%)	△9.8	△80.0	△87.5	△90.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	4,878	92	61	36	0.05

4. 修正の理由

前掲のとおり、当期において、円安基調によるコスト増に対処すべく、生産背景の再編、新旧ブランドの再編を急速に推し進めました。仕入コスト圧縮効果は獲得しましたが、納期遅延、当下半期に納品予定の春夏物受注減少という事態が生じ、これらは一時的なものであるにせよ 2～3 シーズンに及んだことが、当期業績に影響することとなりました。

売上高の減少は、当第 2 四半期において、インショップ業態、GMS 卸販売が苦戦しましたが、その落ち込みが通期に影響することが要因のひとつであります。

また、ホールセール事業の春夏物受注において、GMS が引き続き厳しい状況となり、加えて急速な新旧ブランド再編により専門店受注が一時的に減少したことにより、下半期の売上高が当初計画を下回る見通しとなりました。

さらに、海外事業においては、中国得意先の在庫状況等の事情により、一部の納品が翌期へずれ込む見通しとなりました。

以上の状況を踏まえ、通期の売上高を前回予想を 5 億円下回る 46 億円に修正いたします。

売上総利益率は、第 2 四半期と同様、生産背景の再編効果により、当初計画を上回る見通しですが、売上減に伴い利益額が減少する見通しとなりました。

納期遅延問題は、当第 3 四半期末には解消する目処がたっております。さらにインショップ苦戦、卸受注減といった状況を早期に打破すべく、新旧ブランド編成の再構築と商品企画体制の強化、専門店卸取引拡大に向けた営業態勢の強化に当下半期から取り組んでおります。さらにネット通販の一層の拡大に向けたシステム投資、テナント型ショップ開発などの先行投資費用を当期に織り込んだことから、各利益の修正に至っておりますが、次期以降の早期回復と将来の成長に繋げてまいります。

以上の結果、通期の営業利益は 20 百万円、経常利益は 10 百万円、当期純利益は 5 百万円となる見通しです。

以上